

「最愛の母へ、心からありがとうございます」

優しさの中に凜とした強さを感じさせる母でした。しつけに厳しい一面もありましたが、声を荒らげるのではなく、静かに諭すような口調で私達を導いてくれたことを覚えております。一番印象に残っているのは、よく読書をしていた姿でしょうか。高齢になつてもめがねをかけずにすらすらと新聞や本を読み、いつまでも向学心に燃える様子には、身内ながら感心したものでした。何事にもひたむきな母の姿勢は、これからも私達の道しるべとなるでしょう。

別れを迎える、何気ない日常は心の支えとなりました。孫やひ孫に囲まれ、温かな笑みを浮かべていた面影を偲ぶほどに寂しさが募ります。どうか安らかに：今はただ、感謝の言葉を贈りたいと思います。

●●●●は、平成●●●年●月●日、享年●●歳にて生涯をとじました。

出会い、人生を彩つてくださったすべての皆様へ、深く感謝申し上げます。本日のご会葬誠に有難うございました。
略儀ながら書状をもつて厚くお礼申し上げます。

平成●●●年●月

秋田県大仙市●●●字●●●

喪主

親戚一 同

尚本日は何かと混雑に取り紛れ不行き届きの段あしからず
ご容赦下さいますようお願い申し上げます